

平成29年5月10日号 (第173回)

阿伎留通信

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。

5月の第二日曜日は母の日です。店先にカーネーションが並び、小さな子供が花束を買うほほえましい光景も見られます。

母の日は、もともとアメリカでの社会運動から始まったそうです。普段の生活ではなかなか言えない感謝の気持ちを伝える日、大切に過ごしたいですね。



今回の阿伎留通信は、

－「回復期リハビリテーション病棟のご紹介」－

をテーマに5階東病棟の雲雀 加津子 看護師長よりお話しさせていただきます。

回復期リハビリテーション病棟とは

当院の5階東側にある回復期リハビリテーション病棟は、脳血管疾患、四肢・骨盤骨折等の運動器疾患、人工関節手術等の急性期治療を終えた方に対して、リハビリテーションを中心とした治療を行う病棟です。

リハビリテーションはADL（日常生活動作）向上による寝たきり防止と社会復帰、家庭復帰を目的としています。

入院後の流れとしては、まず医師、看護師、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、社会福祉士といった多職種が共同して、リハビリテーションの総合実施計画を作成します。



これは QOL（生活の質）の向上と退院に向けて、一人一人に合わせたリハビリテーションを行うためのものです。この計画に基づいてリハビリテーションを行い、その実施方法や効果について定期的にカンファレンスを実施し、スタッフ間の情報共有を行って患者様をサポートしていきます。



入院の対象となる疾患と入院期間について

- ・ 入院の対象となるのは脳血管疾患、四肢・骨盤骨折等の運動器疾患、または人工関節手術等の急性期治療を終え、自宅復帰を目指しリハビリテーションの対象となった方です。
- ・ 発症から2か月以内での入院となります。
- ・ 入院期間は疾患ごとに決まっていますが、患者様の状態に合わせ早期退院に向けてサポートをしていきます。

回復期リハビリテーション病棟の特徴

患者様が退院後に安心して生活が出来るように、以下のようなサポートを行います。

- ・ 月曜日から土曜日まで、毎日リハビリを実施します。
- ・ 毎日15時から病棟での立ち上がり訓練を行います。
- ・ 病棟での食事は3食とも食堂で召し上がっていただきます。
- ・ 必要な場合は、退院前にご自宅に訪問し退院の準備をするために家屋評価をします。
- ・ 患者様の状態により、ケースワーカー等のスタッフが協力して退院の支援を行います。

5階東スタッフ一同、患者、ご家族様がリハビリテーションに意欲的に取り組んでいける環境を提供していきます。

阿伎留通信については、第1回から最新号まで、公立阿伎留医療センターのホームページで御覧になることができます。ホームページアドレス(<http://www.akiru-med.jp>)